



## 2023年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月14日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2022年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	2,649	15.5	278	95.2	301	118.8	251	90.7
2022年5月期第1四半期	2,293		142		137		131	

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 255百万円 (216.4%) 2022年5月期第1四半期 80百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	53.36	
2022年5月期第1四半期	26.67	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第1四半期	10,857	5,689	51.7
2022年5月期	11,415	5,458	47.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 5,609百万円 2022年5月期 5,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		5.00	5.00
2023年5月期					
2023年5月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,613	2.2	425	25.8	479	16.5	356		75.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Great Pretenders製作委員会
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期1Q	5,055,400 株	2022年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	2023年5月期1Q	341,033 株	2022年5月期	341,033 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期1Q	4,714,367 株	2022年5月期1Q	4,946,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染者数は増減を続けていますが、社会経済活動の正常化が進み緩やかな回復傾向が続きました。一方、東欧や東アジアでの地政学リスクの高まりや、資源・原材料価格の高騰、米国の政策金利の引き上げによる急激な為替変動等により、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画・製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,649,293千円(前年同期比15.5%増)、経常利益は301,749千円(前年同期比118.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は251,576千円(前年同期比90.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「SPY × FAMILY」「アオアシ」「おにばん!」等、劇場用アニメーション「銀河英雄伝説 Die Neue These 策謀」、その他遊技機、CM等のアニメーションを納品しました。

制作期間の長期化、CG制作費や外注費等が高騰しており、一部の作品については、制作赤字となっております。

以上により、当事業の売上高は1,544,108千円(前年同期比32.3%増)、営業利益は88,105千円(前年同期比786.8%増)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「リィンカーネーションの花弁 16巻」「ふかふかダンジョン攻略記～俺の異世界転生冒険譚～ 8巻」等、定期月刊誌3点、並びに新刊コミックス・書籍18点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リィンカーネーションの花弁」「魔道具師ダリヤはうつむかない～Dahlia Wilts No More～」は、販売好調でありましたが、刊行スケジュール変更等の理由により、コミックス刊行点数が前年同期より少なくなった為、出版事業の売上は前年同期を下回る結果となりました。

以上により、当事業の売上高は577,845千円(前年同期比8.2%減)、営業利益は102,856千円(前年同期比40.4%減)となりました。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「SPY × FAMILY」「王様ランキング」「銀河英雄伝説 Die Neue These」「アオアシ」「進撃の巨人」「攻殻機動隊」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は442,977千円(前年同期比2.9%減)、減価償却費は前年同期と比べ少なくなり、営業利益は109,967千円(前年同期比1,068.3%増)となりました。

#### ④ その他

その他の事業におきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化等により当事業の売上高は84,361千円(前年同期比106.7%増)、営業損失は337千円(前年同期は26,794千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産におきましては、前連結会計年度末に比べ558,066千円減少し10,857,380千円となりました。主な要因は、建物及び構築物が72,680千円、コンテンツ資産が31,759千円増加し、一方、現金及び預金が711,853千円、映像マスターが38,246千円減少したことによるものであります。

② 負債

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ789,340千円減少し5,167,926千円となりました。主な要因は、賞与引当金が67,215千円増加し、一方、未払法人税等が438,926千円、受注損失引当金が101,035千円、未払金が100,100千円減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ231,274千円増加し5,689,454千円となりました。主な要因は、利益剰余金が227,459千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、2022年7月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,305,362	4,593,508
受取手形、売掛金及び契約資産	3,272,864	3,319,536
商品及び製品	122,421	132,101
仕掛品	7,671	20,690
貯蔵品	8,773	8,039
前渡金	30,573	32,568
その他	211,255	202,041
貸倒引当金	△498	△188
流動資産合計	8,958,421	8,308,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	388,504	461,184
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	668,602	630,356
その他（純額）	67,584	97,476
有形固定資産合計	1,775,941	1,840,267
無形固定資産		
コンテンツ資産	12,993	44,753
その他	23,196	27,036
無形固定資産合計	36,189	71,790
投資その他の資産		
投資有価証券	252,651	250,932
その他	392,242	386,091
投資その他の資産合計	644,894	637,024
固定資産合計	2,457,025	2,549,082
資産合計	11,415,446	10,857,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	760,074	703,568
未払金	348,362	248,262
未払印税	804,597	827,931
未払法人税等	477,461	38,534
前受金	1,630,220	1,642,937
預り金	655,850	585,427
賞与引当金	—	67,215
役員賞与引当金	70,070	4,602
受注損失引当金	323,481	222,445
株式給付引当金	—	61,596
その他	379,929	296,670
流動負債合計	5,450,046	4,699,189
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
株式給付引当金	63,336	—
退職給付に係る負債	89,535	92,211
役員退職慰労引当金	76,299	78,796
その他	78,050	97,729
固定負債合計	507,220	468,737
負債合計	5,957,266	5,167,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,186,440	2,186,440
利益剰余金	2,946,214	3,173,674
自己株式	△535,876	△535,876
株主資本合計	5,378,279	5,605,739
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,051	4,087
その他の包括利益累計額合計	△1,051	4,087
非支配株主持分	80,952	79,627
純資産合計	5,458,180	5,689,454
負債純資産合計	11,415,446	10,857,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	2,293,229	2,649,293
売上原価	1,807,050	2,011,576
売上総利益	486,178	637,716
販売費及び一般管理費	343,371	358,954
営業利益	142,807	278,761
営業外収益		
受取利息	110	109
持分法による投資利益	—	1,487
為替差益	101	17,045
受取賃貸料	4,759	5,358
補助金収入	—	3,403
その他	355	5,554
営業外収益合計	5,327	32,958
営業外費用		
支払利息	103	149
賃貸収入原価	2,146	8,525
知的財産関連費用	1,397	—
投資事業組合運用損	1,295	1,295
持分法による投資損失	5,140	—
その他	143	—
営業外費用合計	10,227	9,970
経常利益	137,907	301,749
特別損失		
減損損失	171	—
特別損失合計	171	—
税金等調整前四半期純利益	137,735	301,749
法人税、住民税及び事業税	46,311	38,517
法人税等調整額	11,830	12,980
法人税等合計	58,142	51,497
四半期純利益	79,593	250,251
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△52,346	△1,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,940	251,576



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	79,593	250,251
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,126	5,139
その他の包括利益合計	1,126	5,139
四半期包括利益	80,719	255,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,066	256,715
非支配株主に係る四半期包括利益	△52,346	△1,324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	627,307	—	—	627,307	—	627,307
劇場用のアニメ映像制作	284,091	—	—	284,091	—	284,091
その他のアニメ映像制作	255,627	—	—	255,627	—	255,627
コミック・書籍の出版販売	—	171,503	—	171,503	—	171,503
電子書籍の販売	—	457,620	—	457,620	—	457,620
映像コンテンツの著作権料	—	—	265,230	265,230	—	265,230
出版物に係る原作印税収入	—	—	35,289	35,289	—	35,289
その他	—	—	4,289	4,289	40,818	45,107
顧客との契約から生じる収益	1,167,026	629,124	304,809	2,100,960	40,818	2,141,778
その他の収益	—	—	151,450	151,450	—	151,450
外部顧客への売上高	1,167,026	629,124	456,260	2,252,410	40,818	2,293,229
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,167,026	629,124	456,260	2,252,410	40,818	2,293,229
セグメント利益	9,935	172,490	9,412	191,837	△26,794	165,043

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	191,837
「その他」の区分の損失(△)	△26,794
全社費用(注)	△22,236
四半期連結損益計算書の営業利益	142,807

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失171千円を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	1,151,438	—	—	1,151,438	—	1,151,438
劇場用のアニメ映像制作	183,286	—	—	183,286	—	183,286
その他のアニメ映像制作	206,505	—	—	206,505	—	206,505
コミック・書籍の出版販売	—	80,330	—	80,330	—	80,330
電子書籍の販売	—	426,050	—	426,050	—	426,050
映像コンテンツの著作権料	—	—	195,305	195,305	—	195,305
出版物に係る原作印税収入	—	—	51,613	51,613	—	51,613
その他	2,879	71,464	10,656	85,000	84,361	169,361
顧客との契約から生じる収益	1,544,108	577,845	257,574	2,379,528	84,361	2,463,890
その他の収益	—	—	185,402	185,402	—	185,402
外部顧客への売上高	1,544,108	577,845	442,977	2,564,931	84,361	2,649,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,544,108	577,845	442,977	2,564,931	84,361	2,649,293
セグメント利益	88,105	102,856	109,967	300,928	△337	300,591

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	300,928
「その他」の区分の損失(△)	△337
全社費用(注)	△21,829
四半期連結損益計算書の営業利益	278,761

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。